

公益財団法人日本食品化学研究振興財団
令和3年度助成決定について

公益財団法人日本食品化学研究振興財団（理事長 清水 孝重）は、次のとおり令和3年度助成金交付対象者（所属・職名は申請時）を決定しましたのでお知らせいたします。

研究助成採択件数および金額

一般研究	8件	計	400万円
課題研究	7件	計	350万円
合計	15件		750万円

前期シンポジウム開催等助成件数および金額

3件	計	125万円
----	---	-------

後期シンポジウム開催等助成件数および金額

2件	計	60万円
----	---	------

○一般研究

1. 既存食品添加用色素を用いた胚移植の操作性及び視認性の向上
（山口大学共同獣医学部 助教 今井 啓之）
2. 単純糖質嗜好性抑制作用を有する希少糖の探索とその応用
（京都大学大学院農学研究科 助教 松居 翔）
3. 食品添加物の動物実験を用いない安全性評価の **Systematic review** に関する研究
（国立医薬品食品衛生研究所安全性予測評価部 室長 小島 肇）
4. ミカン属植物に含まれるアルカロイドの分析とメタボローム解析
（東京農工大学大学院工学研究院 特任助教 辻本 恭）
5. メタボロミクスを用いた糖アルコールの糖代謝改善メカニズムの解明
（京都府立医科大学大学院医学研究科 病院助教 中西 尚子）
6. ヒト iPS 細胞由来骨格筋細胞を用いた食品添加物ビタミン類の筋萎縮抑制効果に関する研究
（東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授 山内 祥生）

7. ナツメグ成分 Malabaricone C による脂質メディエーター合成阻害と慢性炎症性疾患予防効果
(岡山県立大学保健福祉学部 教授 山本 登志子)
8. 蛍光標識人工甘味料の創製と安全性研究への応用
(神戸学院大学薬学部 助教 小野寺 章)

○課題研究

1. カラメル色素Ⅲ・Ⅳに含まれる 4-Methylimidazole の消化管上皮細胞への影響
(日本薬科大学 講師 瀧沢 裕輔)
2. 人工甘味料の摂取により活動し、その嗜好を駆動する神経細胞の全脳マッピング
(東京医科歯科大学医歯学総合研究科 助教 田中 大介)
3. ミョウバンによる腸管上皮損傷に伴う炎症・アレルギー誘導性損傷関連分子の放出の解析と免疫学的安全性評価の検討
(日本医科大学 講師 若林 あや子)
4. 食用油中シス体カロテノイドの安定性評価と安定性向上に最適な抗酸化物質の選定
(名城大学理工学部 研究員 村上 和弥)
5. 安心して在宅でトロミ剤を提供するためのトロミ度計測マドラーの開発
(岩手医科大学 准教授 黒瀬 雅之)
6. 食用昆虫の栄養評価ならびにビタミン B₁₂ アナログの安全性に関する研究
(鳥取大学農学部 助教 美藤 友博)
7. 食用昆虫タンパク質の生体内消化性および食品加工時の物性・抗菌性に及ぼす影響
(北里大学獣医学部 講師 落合 優)

○（前期）シンポジウム開催等助成

1. 食品ハイドロコロイド研究会
講座（セミナー、シンポジウム及び国際 Mini-Sympo）
2. 日本ポリフェノール学会 第 14 回学術集会
基調講演、シンポジウム及びポスターセッション
3. 日本食品化学学会 第 27 回総会・学術大会

○（後期）シンポジウム開催等助成

1. 日本毒性病理学会 第 38 回日本毒性病理学会総会及び学術集会
テーマ：毒性病理学の未来を切り拓く技術と創造性
2. 日本食品化学学会 第 37 回食品化学シンポジウム
テーマ：SDGs と食品化学（仮）